

平賀源内のエレキテル



平賀源内が、長崎で入手し修理・復元した摩擦起電機で、我が国で最も古い電気関係の機械といわれています。

横に付いた取っ手を回すことで内部のガラス瓶を回転させ、金属箔との摩擦を起こし静電気を発生させる装置で、電気ショックを利用した医療器具としてオランダからもたらされたようですが、日本では発電の見世物として評判を呼びました。

平成9年6月に、我が国の歴史に欠かせない貴重な資料として、国の重要文化財に指定されています。

ていぱーくの概要

郵政研究所附属資料館（ていぱーく 通信総合博物館）は、明治35年に万国郵便連合加盟25周年を記念して創設されて以来、郵政文化の普及・啓発を目的とした博物館活動を行っており、年間30万人以上の入館者があります。所蔵資料は、郵便切手資料、駅通資料、郵便・貯金・保険資料、電気通信資料など約163万点にのぼります。

平成9年にデジタルパーク郵政館としてリニューアルオープンしましたが、更に「開かれたデジタル博物館を目指し」取り組んでいます。

今月号からていぱーくの所蔵資料をシリーズで紹介していきます。